

2021年度(2022年3月期) 第2四半期決算説明会

2021年10月28日





ポイント 増収増益

(+/▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	+446	北米上流事業会社の連結子会社化による売上増等。			
営業費用	▲ 508	油価格上昇の影響 等。			
営業利益	▲ 63	7レーム影響に伴う都市ガス単価差による粗利減 等。			
特別損益	+119	当期 28 : (特別利益) 投資有価証券売却益+28 前期 ▲91 : (特別損失) 減損損失▲64、投資有価証券評価損▲46、(特別利益) 負ののれん発生益+20			

(単位: 億円)

都市ガス販売量 (百万m³、45MJ)5,719電力販売量 (百万kWh)13,245	5,569 11,801 4,885	150 1,444	2.7
電力販売量 (百万kWh) 13,245			12.2
	4,885		
小売 (百万kWh、需要端) 4,949	,	64	1.3
卸他 (百万kWh) 8,296	6,917	1,379	19.9
売上高 8,726	8,280	446	5.4
営業費用 8,272	7,764	508	6.6
営業利益 453	516	▲63	▲ 12.2
セグメント利益(営業利益+持分法損益) 474	513	▲39	▲ 7.7
経常利益 …① 463	497	▲34	▲ 6.9
特別損益 28	▲91	119	_
親会社株主に帰属する当期純利益 318	278	40	14.5
気温影響 …② ▲31	0	▲31	_
補正項目 スライドタイムラグ …③ ▲309 (都市ガス+LNG販売)	84 (64+20)	▲393 (▲342+▲51)	_
年金数理差異償却額 …④ 54	4	50	_
補正経常利益 …①- (②+③+④) 749	409	340	83.1

経済フレーム	2021年度2Q	2020年度2Q
為替レート(¥/\$)	109.81 (+2.88)	106.93
原油価格(\$/bbl)	70.29 (+33.82)	36.47
平均気温 (℃)	21.5 (+0.2)	21.3

年金	2021年度2Q
運用利回り ※コスト控除後	1.73%
期末資産 (億円)	2,640

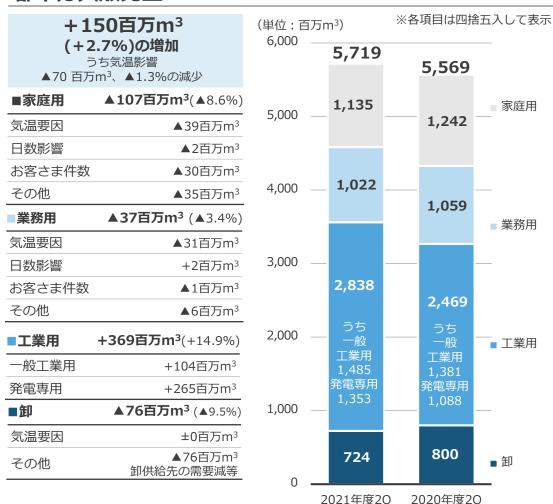
<期待運用収益率:2%>

※2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。



対前年同期実績

都市ガス販売量



2021年度2Q度実績 (連結) ガス販売量・件数

件数、LNG販売量、平均気温

	2021年度 2Q実績	2020年度 2Q実績	増減
小売お客さま件数 (万件) ^{※1}	876.2	897.5	▲21.3 (▲2.4%)
取付メーター数 (万件) ^{※2}	1,213.2	1,200.5	+12.7 (+1.1%)
LNG販売量 (千t)	475	513	▲ 38 (▲ 7.4%)
平均気温 (℃)	21.5	21.3	+0.2

※1 ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数

※2 休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメー

ター取付数

販売・自家使用量 (百万m3)

	2021年度 2Q実績	2020年度 2Q実績	増減
都市ガス販売量	5,719	5,569	+150 (+2.7%)
トーリングによる ガス自家使用量	1,173	1,536	▲ 363 (▲ 23.6%)
LNG販売量 (m³換算)	594	642	▲ 48 (▲ 7.4%)
合計	7,486	7,747	▲ 261 ▲ 3.4%)

当社 (連結) 都市ガス 小売お客さま件数推移 (万件)

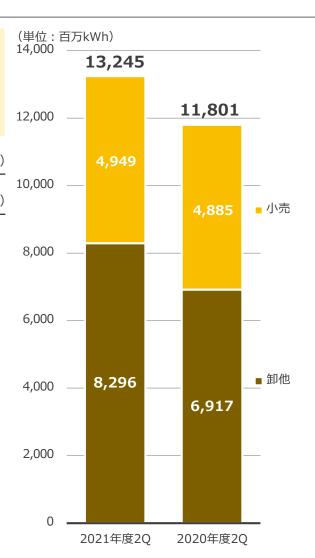
	2017.3	2017.6	2017.9	2017.12	2018.3	2018.6	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9
件数 (増減)															897.5 (▲6.9)				

電力販売量

+1,444百万kWh (+12.2%)の増加

■小売 +64百万kWh(+1.3%)

■卸他 +1,379百万kWh(+19.9%)



小売件数実績

※小売件数=電力料金請求対象件数



「キャンペーン」実施期間

2020年度

2021年度

夏: 2020/6/2~2020/7/20 2020/7/30~2020/10/26 秋:

2020/10/30~2020/12/25 タ・

冬:

2021/1/7~2021/2/22

复: 2021/6/23~2021/9/30

※各項目は四捨五入して表示



6

(単位: 億円)

			売」	L高		(単位: 億円 セグメント利益(営業利益+持分法損益)				
		2021年度 2Q実績	2020年度 2Q実績	増減	%	2021年度 2Q実績	2020年度 2Q実績	増減	%	
ガス		5,618	5,440	178	3.3	344	478	▲ 134	▲28.1	
	(都市ガス)	4,454	4,521	▲ 67	▲ 1.5	74	479	▲405	▲84.5	
	(LNG販売)	704	759	▲ 55	▲ 7.2	9	0	9	_	
電力		1,937	1,955	▲18	▲0.9	82	131	▲ 49	▲37.8	
海外		378	191	187	97.2	105	17	88	509.9	
	(持分法損益)	_	_	_	_	16	▲ 7	23		
エネノ	レギー関連	1,477	1,541	▲ 64	▲ 4.1	67	57	10	18.8	
	(エンジニアリングソリューション)	634	636	▲2	▲0.3	27	21	6	30.0	
不動產	を (持分法損益含む)	284	229	55	24.2	86	42	44	102.5	
その作	也 (持分法損益含む)	485	524	▲39	▲ 7.4	7	15	▲8	▲48.9	
調整額	Ą	▲1,456	▲ 1,602	146	_	▲218	▲228	10		
セグン	メント合計額	8,726	8,280	446	5.4	474	513	▲39	▲ 7.7	
	(持分法損益)	_	_	_		21	▲2	23	_	

[[]注]・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。

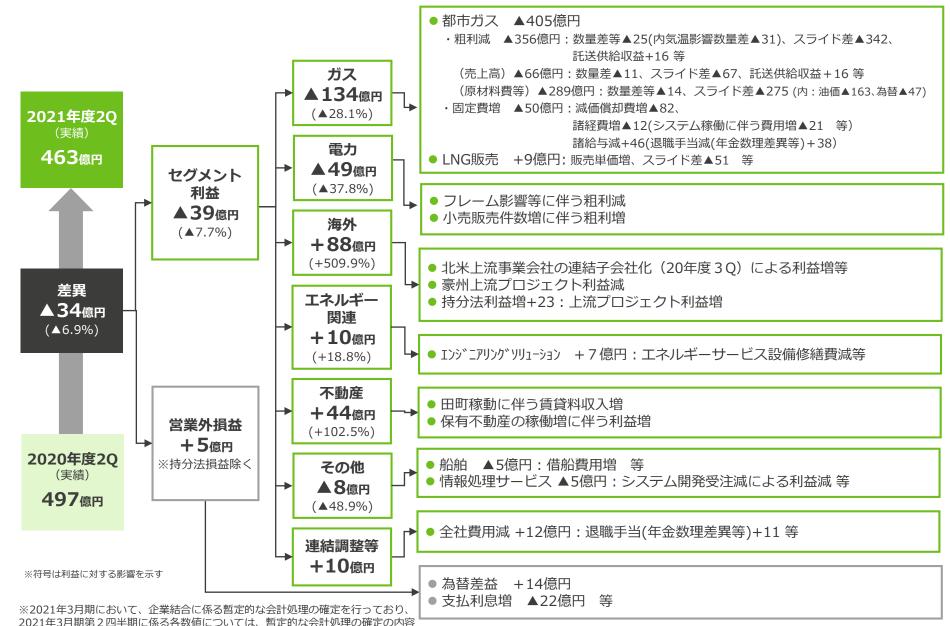


^{・「}ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングリリューション、ガス器具、 ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。

[・]セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

^{※2021}年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

を反映させています。





2021年度見通し (連結) (2021.4.1 - 2022.3.31)



ポイント 増収増益(対前回見通し)

(+/▲は利益に対する影響を示す, 億円)

	対前回 見通し				
売上高	+180	原料費調整に伴う都市ガス単価増、都市ガス販売量増等。			
営業費用	▲100	油価格上昇の影響、都市ガス販売量増 等。			
営業利益	+80	海外上流プロジェクト(豪州・北米)による利益増 等。			
特別損益	+28	今回 28 : (特別利益)投資有価証券売却益 + 28 前回 0			

(単位: 億円)

			(1 12 1 10 11 2)					
		見通し	前回 見通し	増減	%	前年度 実績	増減	%
都市ガス	販売量 (百万m³, 45MJ)	12,382	12,276	106	0.9	12,990	▲ 608	▲ 4.7
電力販売	量 (百万kWh)	26,964	27,579	▲615	▲2.2	24,761	2,203	8.9
売上高		19,700	19,520	180	0.9	17,651	2,049	11.6
営業費用		18,700	18,600	100	0.5	16,874	1,826	10.8
営業利益		1,000	920	80	8.7	776	224	28.7
セグメン (営業利益	卜利益 益+持分法損益)	1,037	948	89	9.4	791	246	31.0
経常利益	(1)	930	830	100	12.0	705	225	31.9
特別損益		28	0	28	_	▲43	71	_
親会社株	主に帰属する当期純利益	670	600	70	11.7	495	175	35.3
	気温影響 …②	▲31	▲39	8	_	▲ 54	23	_
補正項目	スライドタイムラグ …③ (都市ガス+LNG販売)	▲242 (▲214+ ▲28)	▲248 (▲224+ ▲24)	6 (10+▲4)	_	▲121 (▲120+ ▲1)	▲121 (▲94+ ▲27)	_
	年金数理差異償却額 …④	111	111	0	_	8	103	_
補正経常和	利益 …①- (②+③+④)	1,092	1,006	86	8.5	872	220	25.2

経済フレーム	見通し	前回 見通し	前年度 実績
為替レート (¥/\$)	109.91 (+0.03)	109.88	106.10
原油価格 (\$/bbl)	70.15 (+4.67)	65.48	43.35
平均気温 (℃)	16.3 (▲0.1)	16.4	16.5

*3 Q以降:原油価格70 \$/b b I、為替レート110円/\$

£	F金	2020 年度	2019 年度	2018 年度
運用利※コス	回り ト控除後	4.94%	0.33%	1.65%
割	年金分	0.318%	0.264%	0.156%
引 率	一時 金分	0.075%	0.012%	0.000%
期末資(億円	-	2,630	2,590	2,670

<期待運用収益率: 2%>



2021年度見通し (連結) ガス販売量・件数

10

都市ガス販売量

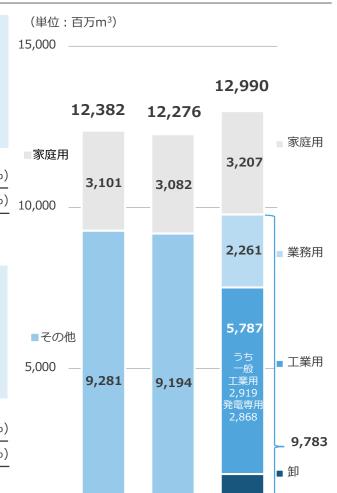
※各項目は四捨五入して表示

1,735

実績

件数、LNG販売量、平均気温

対前回見通し +106百万m³ (+0.9%)の増加 うち気温影響 ▲1百万m³、▲0.0%の減少 +19百万m³(+0.6%) 家庭用 **+87百万m**³(+0.9%) ■その他 対前年実績 ▲608百万m³ (▲4.7%)の減少 うち気温影響 +41百万m³、+0.3%の増加 ▲106百万m³(▲3.3%) 家庭用 ▲502百万m³(▲5.1%) ■その他



2021年度 前回見通し 2020年度

見通し

	見通し	前回 見通し	増減	前年度実績	増減
取付メーター数 (万件) *1	1,221.3	1,221.3	0	1,208.3	+13.0 (+1.1%)
LNG販売量 (千t)	1,151	1,146	+5 (+0.5%)	1,103	+48 (+4.4%)
平均気温 (℃)	16.3	16.4	▲0.1	16.5	▲0.2

※1 休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m3)

	見通し	前回 見通し	増減 前年度 実績		増減
都市ガス販売量	12,382	12,276	+106 (+0.9%)	12,990	▲608 (▲4.7%)
トーリングによる ガス自家使用量	2,492	3,009	▲517 (▲17.2%)	3,208	▲ 716 (▲ 22.3%)
LNG販売量 (m³換算)	1,439	1,432	+7 (+0.5%)	1,379	+60 (+4.4%)
合計	16,313	16,717	▲404 (▲2.4%)	17,577	▲1,264 (▲7.2%)

2021年度見通し (連結) 電力販売量・件数

電力販売量

※各項目は四捨五入して表示

小売件数

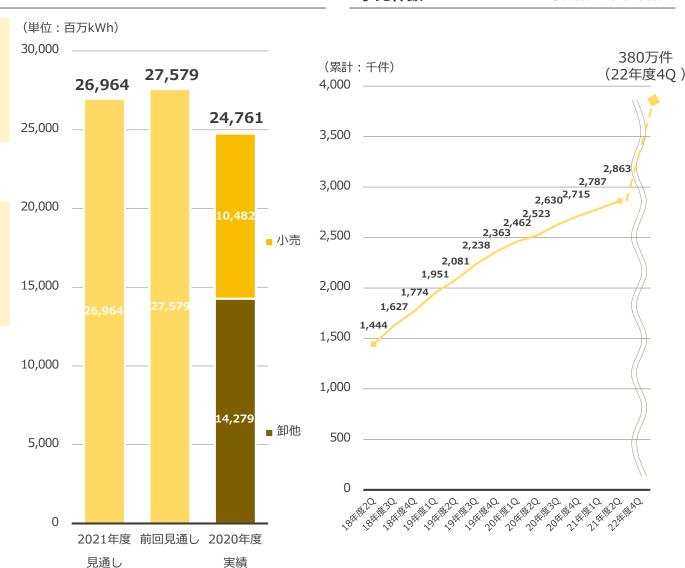
※小売件数=供給中件数

対前回見通し

▲615百万kWh (▲2.2%)の減少

対前年実績

+2,203百万kWh (+8.9%)の増加





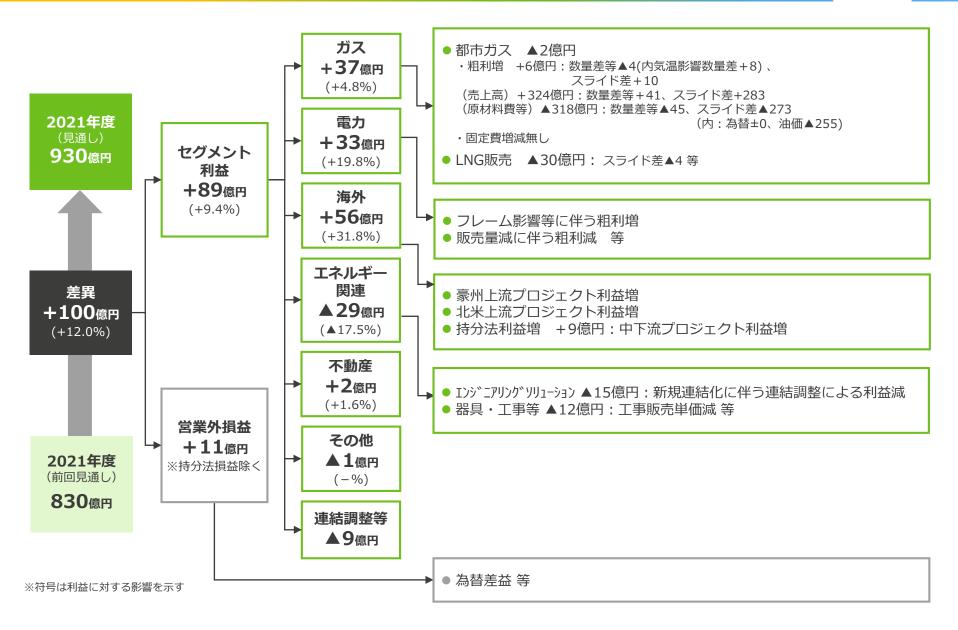
(単位: 億円)

			売」	高		セグメント利益(営業利益+持分法損益)			
		見通し	前回見通し	増減	%	見通し	前回見通し	増減	%
ガス		12,740	12,615	125	1.0	805	768	37	4.8
	(都市ガス)	10,650	10,326	324	3.1	704	706	▲2	▲0.4
	(LNG販売)	1,642	1,843	▲201	▲ 10.9	▲1	29	▲30	_
電力		4,299	4,286	13	0.3	200	167	33	19.8
海外		816	789	27	3.4	232	176	56	31.8
	(持分法損益)	_	_	_	_	27	18	9	
エネル	レギー関連	3,159	3,356	▲197	▲ 5.9	137	166	▲29	▲ 17.5
	(エンジニアリングソリューション)	1,250	1,358	▲108	▲ 7.9	26	41	▲ 15	▲37.3
不動產	€ (持分法損益含む)	565	578	▲ 13	▲2.2	129	127	2	1.6
その他	也(持分法損益含む)	1,023	996	27	2.7	▲2	^ 1	1	_
調整額	Į	▲2,903	▲3,100	197	_	▲ 464	▲ 455	▲9	
セグン	メント合計額	19,700	19,520	180	0.9	1,037	948	89	9.4
	(持分法損益)	_	_	_	_	37	27	10	34.4

[[]注]・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。

^{・「}ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。

[・]セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。





(単位: 億円)

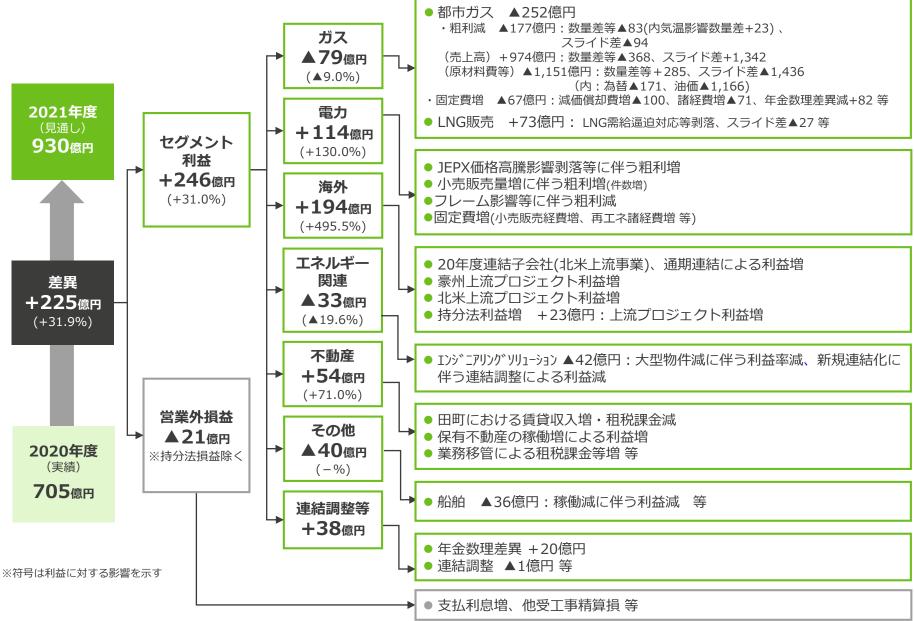
									(半位、18日)
			売」	L高		セグメント利益(営業利益+持分法損益)			
		見通し	前年度 実績	増減	%	見通し	前年度 実績	増減	%
ガス		12,740	11,467	1,273	11.1	805	884	▲ 79	▲9.0
	(都市ガス)	10,650	9,677	973	10.1	704	956	▲252	▲26.4
	(LNG販売)	1,642	1,394	248	17.8	▲1	▲ 74	73	_
電力		4,299	3,959	340	8.6	200	86	114	130.0
海外		816	459	357	77.6	232	38	194	495.5
	(持分法損益)	_	_	_	_	27	4	23	456.4
エネノ	レギー関連	3,159	3,394	▲235	▲ 6.9	137	170	▲33	▲ 19.6
	(エンジニアリングソリューション)	1,250	1,397	▲ 147	▲ 10.5	26	66	▲ 40	▲ 60.6
不動產	産 (持分法損益含む)	565	484	81	16.7	129	75	54	71.0
その作	心 (持分法損益含む)	1,023	1,104	▲81	▲ 7.4	▲2	38	▲ 40	_
調整額	頂	▲ 2,903	▲3,218	315	_	▲ 464	▲ 502	38	_
セグン	メント合計額	19,700	17,651	2,049	11.6	1,037	791	246	31.0
	(持分法損益)	_		_	_	37	14	23	153.3

[[]注]・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。

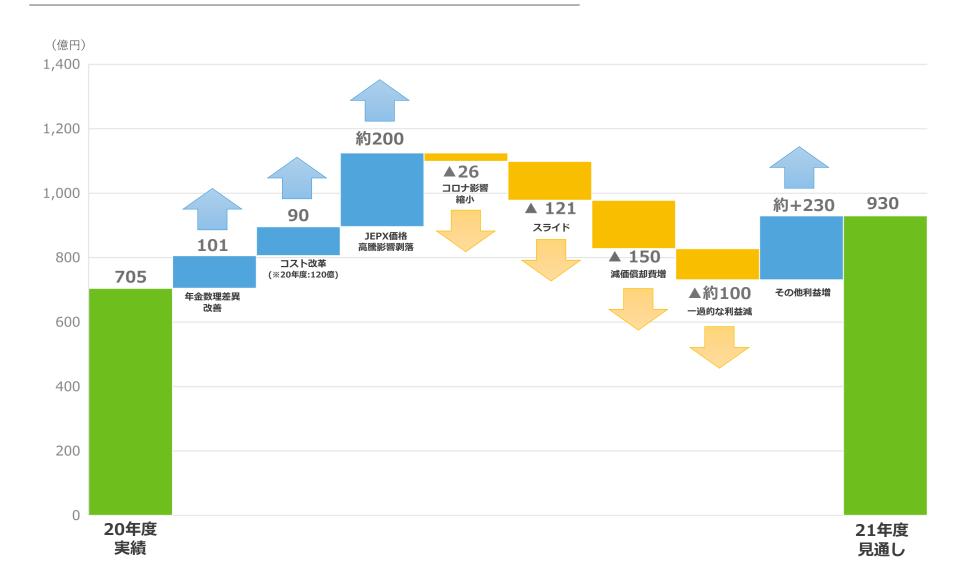


^{・「}ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、ガス器具、 ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。

[・]セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。



前年度経常利益からの変化要素



2021年度見通し(連結)キャッシュ・フローの使途(設備投資と投融資)

								(-	半似: 熄円)
		見通し	主な件名	前回 見通し	増減	%	前年度 実績	増減	%
	ガス	1,330	製造設備 89 (▲ 15) : その他製造設備 等 供給設備 861 (▲11) : 需要開発 等 業務設備等 379 (+16) : システム関連 等	1,340	▲10	▲0.8	1,490	▲ 160	▲10.8
設	電力	149	国内再工ネ 等	135	14	10.2	145	4	2.9
備	海外	649	上流(豪州・北米)、海外再工ネ 等	587	62	10.6	488	161	32.9
投	エネルギー関連	237	TGESエネルギーサービス事業 等	237	0	▲0.3	155	82	52.4
資	不動産	119	不動産賃貸事業、建物改修 等	184	▲ 65	▲35.1	173	▲ 54	▲31.0
	その他	16		22	^ 6	▲27.3	43	▲27	▲ 62.7
	調整額	▲42		▲ 48	6	_	▲33	▲ 9	_
	計	2,460		2,460	0	_	2,464	▲ 4	▲0.2
	ガス	0		0	0	_	0	0	
投 融	電力	69	国内再工ネ 、海外電力小売企業への出資 等	69	0	_	601	▲ 532	▲88.5
資	海外	296	上流(豪州)、中下流(アジア)、海外再エネ 等	302	▲ 6	▲ 1.9	142	154	108.4
回収	エネルギー関連	78	TGESエンジニアリング事業 等	82	▲4	▲ 4.8	102	▲24	▲23.5
含まず	不動産	12		12	0	_	3	9	300.0
ず	その他 (無件名含む)	726		719	7	0.9	5	721	_
	計	1,184		1,184	0	_	853	331	38.8
	設備投資・投融資 (回収含まず)合計	3,644		3,644	0	_	3,317	327	9.8
	回収 計	35		33	2	6.5	32	3	8.9
	設備投資・投融資 (相殺後)合計	3,608		3,610	▲2	▲0.1	3,285	323	9.9

主要計数表(連結)

18

(単位: 億円)

				(+12: 1
		2021年度見通し	2020年度実績	2019年度実績
総資産(a)		29,200	27,383	25,399
自己資	i本(b)	12,090	11,538	11,477
自己資	[本比率(b)/(a)	41.4%	42.1%	45.2%
有利子	给 負債(c)	12,720	10,659	9,050
D/EL	/シオ(c)/(b)	1.05	0.92	0.79
親会社株主に帰属する当期純利益(d)		670	495	432
1株当	たり当期純利益(円/株)	152.33	112.26	97.86
減価償	却(e)	1,950	1,798	1,698
営業キ	-ャッシュ・フロー(d)+(e)	2,620	2,293	2,131
投資	設備投資	2,460	2,464	2,270
汉具	投融資(回収含まず)	1,184	853	598
	計	3,644	3,317	2,868
ROA	(d)/(a)	2.4%	1.9%	1.7%
ROE (d)/(b)		5.7%	4.3%	3.8%
WAC	C	2.4%	2.6%	2.7%
総還元	性向	_	60.1%	61.0%

注: 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分

ROA = 純利益/総資産 (期首・期末平均)

ROE = 純利益/自己資本 (期首・期末平均)

BS関連数値は各期末時点の数値

営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却(長期前払費用償却含む)

総還元性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

■WACC算定諸元(2021年度見通し)

a)有利子負債コスト 実績金利0.71%(税引後)

b)株主資本コスト率

c)リスクフリーレート 10年国債利回 0.02%

d)マーケットリスクプレミアム 5.5% β値 0.75



- 当社は、株主還元方針において、配当及び消却を前提とした自社株取得を株主還元として位置付け、総還元性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2022年度に至るまで各年度5割程度としております。
- 今般、収支見通し等を勘案し、2022年3月期の期末配当金の予想について、5円増額の35円(年間では、第2四半期末の配当金30円を含め65円)に修正いたします。





総還元性向(%) (60.1)(73.6)(63.4)(60.1)(60.9)(61.4)(60.7)(60.0)(60.8)(60.1)(60.7)(60.2)(60.3)(61.0)(60.1)

- ・2017年10月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更すると共に、株式について5株を1株にする併合を実施
- ・配当額について、全て株式併合後に換算して表示





03

参考資料

原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合

収文影響時期

(単位: 億円)

		第3四半期	第4四半期	年度計
変	第3四半期	1	▲9	▲10
動時	第4四半期	0	0	0
期	通期	▲1	▲ 9	▲10

円ドルレートが¥1/\$円安になる場合

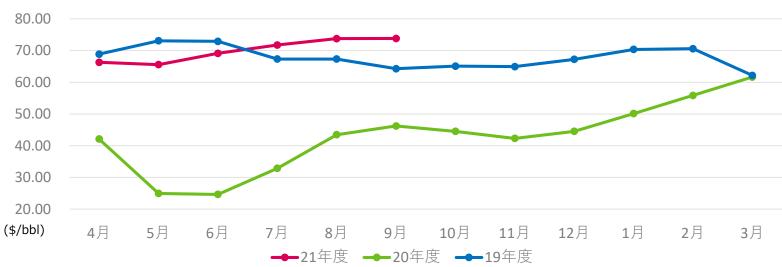
収支影響時期

(単位: 億円)

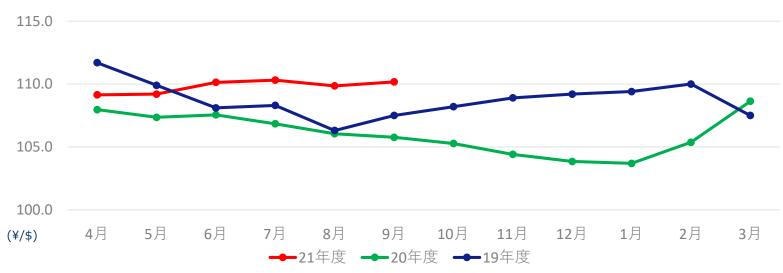
		第3四半期	第4四半期	年度計
変	第3四半期	A 6	6	0
動時	第4四半期	0	▲ 9	▲ 9
期	通期	A 6	▲ 3	▲ 9



原油価格(JCC)



為替レート



2021年度 主なトピックス (10月28日まで、プレスリリース等より抜粋)



全般 (ESG含む)

- ・定款一部変更に関するお知らせ(4/28)
- ・会社分割(吸収分割)に関するお知らせ(4/28)
- ・会社分割(簡易吸収分割)に関するお知らせ(5/19)
- ・株式報酬制度の導入に関するお知らせ(6/29)
- ・株式報酬制度における株式取得に関する事項の決定に関するお知らせ(7/28)
- ・株式報酬制度の導入に伴う第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ(7/28)

ガス・電力 (ESG含む)

- ・茨城県鹿島港洋上風力発電事業の推進について(4/5)
- ・日本版洋上風力発電の早期実現に向けた九州大学等との産学共同研究への参画について(4/19)
- ・東京ガスとNTT東日本の協業による道路埋設物調査・道路工事立会の共同受付の開始について(4/26)
- ・低圧電気料金メニュー「基本プラン」の新設について(5/13)
- ・実質再生可能エネルギー100%の電気料金プラン「さすてな電気」を新たに開始(6/3)
- ・日本初となるカーボンニュートラル都市ガスプランの第三者検証報告書の受領について(6/15)
- ・KAWASAKI DELTA 「サスティナブルなまちづくり」の実践(6/25)
- ・山口県岩国市におけるメガソーラーの商業運転開始について(7/1)
- ・東京2020大会 選手村へのカーボンニュートラル都市ガスの供給(7/13)
- ・『宇都宮ライトパワー株式会社』の設立について(7/13)
- ・家庭向けデマンドレスポンスの実証開始について(7/20)
- ・新築マンション共用部向けに「実質再工ネ電気」の提供を開始(9/13)
- ・日本版洋上風力発電の早期実現に向けた産学共同研究を加速 (9/30)
- ・株式会社東京ガス横須賀パワーの株式譲渡および取得について(9/30)
- ・国内最大規模となるカーボンニュートラル都市ガス導入(10/18)
- ・坂出バイオマス発電事業の共同実施に関するお知らせ(10/22)

- ◆エンジニアリングソリューション
- ・東京ガス野村不動産エナジー株式会社の設立について(4/5)
- ・宮城県仙台市 バイオマス専焼火力発電所におけるオーナー支援業務および運転管理業務の委託契約締結ついて(4/7) *1
- ・太陽光発電アセットマネジメント業務の高度化を図る実証事業の実施について(4/26)*1
- ・家庭用燃料電池「エネファーム」および家庭用蓄電池の群制御によるバーチャルパワープラント実証の開始について(6/8)
- ・Honda熊本製作所における3,800kWの自家消費型太陽光発電事業運転開始について(10/4)*1
- ・タイPTTグループとの合弁会社設立について(10/5)*1

サービス (ESG含む)

- ◆その他
- ・賃貸管理サポートサービス「まもROOM」の提供を開始(4/8)
- ・「東京ガスのハウスクリーニング」を開始(5/11)
- ・太陽光発電と蓄電池で停電対策!「あんしんWでんち」を開始(5/27)
- ・集合住宅向けEV充電サービスの事業化に向けたユビ電株式会社との資本業務提携について(6/28)
- ・国内トップシェアのソフトウェア事業の譲受について日本たばこ産業グループと基本合意(7/8)

海外(ESG含む)

・メキシコMT Falcon発電事業の持分売却の合意について(9/16)

脱炭素化 技術開発 (ESG含む)

- ・東京ガスとSCREEN、低コストグリーン水素製造に向けた水電解用セルスタックの共同開発に合意(5/26)
- ・世界初!都市ガス機器利用時の排ガスを利用した「CO2吸収型コンクリート!製造を開始(7/7)
- ・メタネーション実証試験を2021年度内に開始(7/7)
- ・メガワット級水電解装置を利用した水素実証実験の実施について (7/7)
- ・お客さま先でのCO2資源化技術の開発について(9/28)
- ・バイオリアクターによるメタネーションの技術実証に向けた産学共同研究の開始について(10/13)

*1 東京ガスエンジニアリングソリューションズによるリリース

2021年度 主なトピックス (10月28日まで、プレスリリース等より抜粋)



ESG	・2021年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について (4/23、5/12、6/14、7/15、8/23、9/16、10/21) ・「東京ガスグループ サステナビリティレポート2021」の発行について(8/31)
財務・株主 還元	・自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ(4/28)、自己株式の取得完了(5/19)、自己株式の消却(7/28) ・第67回、第68回、第69回、第70回無担保社債発行のお知らせ(7/7) ・株主還元方針の変更に関するお知らせ(9/29) ・2022年3月期(第222期)配当予想の修正に関するお知らせ(10/28)

			457		1 2	
地域	番号	国名	案件名称	投資分野/	/投資内容	参加年
			イーグルフォード	上流	シェールガス	2016
		米国	TGナチュラルリソーシズ	上流	シェールガス	2017
	1		TGESアメリカ	中下流	エネルギーサービス	2015
		小 国	バーズボロー	中下流	天然ガス発電	2017
北米			アクティナ	中下流	太陽光発電	2020
			アカリオベンチャーズ	その他	オープンイノベーション	2017
	2	メキシコ	バヒオ	中下流	天然ガス発電	2004
			MTファルコン	中下流	天然ガス発電	2010
			エオリオス・エンテーへー	中下流	再生可能エネルギー開発事業(太陽光・風力)	2019
	•	マレーシア	ガスマレーシア	下流	都市ガス	1992
	3	マレーンバ	ガスマレーシアエネルギーアドバンス	中下流	エネルギーサービス	2014
			バンボー	中下流	天然ガス発電	2016
	4	タイ	ガルフ・ダブルエイチエー・エムティー	中下流	ガス配給	2018
東南アジア			ワン・バンコク	中下流	地域冷房・配電事業	2020
		ベトナム	ペトロベトナムガス販売	中下流	導管・CNG供給	2017
	6	インドネシア	パンジ・ラヤ・アラミンド	中下流	ガス配給・輸送	2017
			スーパー・エナジー	中下流	ガス配給・輸送	2020
	7	フィリピン	FGEN LNG	下流	LNG基地建設、運営、メンテナンス	2020
			ダーウィン	上流	天然ガス生産・液化・販売	2003
			プルート	上流	天然ガス生産・液化・販売	2008
オセアニア	8	オーストラリア	ゴーゴン	上流	天然ガス生産・液化・販売	2009
			クイーンズランド・カーティス	上流	天然ガス生産・液化・販売	2011
			イクシス	上流	天然ガス生産・液化・販売	2012
			/ ,		7 (110 /4/20	

TOKYO GAS

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴 史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から 得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。